

狛江出身のプロ野球選手が誕生 六小、二中出身の勝又温史選手がDeNAへ入団

狛江市出身のプロ野球選手が誕生した。日本大学鶴ヶ丘高等学校3年の勝又温史さん(18)で10月25日(日)のドラフト会議で横浜DeNAベイスターズから4位指名を受けた。11月18日(日)の狛江市民まつりではオープニングセレモニーに登場、市民から大きな激励の拍手が送られた。



狛江市民まつりで挨拶する勝又選手(右)と祝福の拍手を送る松原俊雄市長

勝又選手は平成12年5月22日狛江生まれ。180センチ、76キロ。右投左打。猪方の自宅で両親と姉との4人暮らし。

狛江第六小学校3年生から軟式少年野球チーム「狛江ロッキーズ」で活躍、狛江第二中学校在学中は硬式野球クラブチーム「狛江ボーイズ」に所属して1、2年生で外野手や捕手、3

年生では投手としてプレーした。日大鶴ヶ丘高では1年生から打撃で頭角を現してベンチ入り、2年生から外野手兼投手になり、3年生にはエースの座をつかんだ。7月30日(日)の全国高等学校野球選手権大会西東京大会決勝戦では日本大学第三高等学校と対戦、154球の力投も実らず涙を飲んだ。甲子園不出場ながら、最速152キロの東京

最強右腕に、打撃力も備えた「二刀流」が早くからプロ野球スカウトの注目を集めていた。

勝又選手は、ドラフト指名について「最初はうれしかったのですが、1月からキャンプも始まるので『これからいよいよ始まる』という緊張感の方が強いです。28という良い背番号をもらって、身が引き締まる思いです」と意欲を見せる。入団後は「まずプロの世界に慣れ、早く一軍に上がって活躍したい。球団から投手でやるように言われていますが、課題の投球のコントロールを克服し、160キロの球を投げられるようにするのが目標。将来は大リーグを目指したい」という。狛江の後輩に対しては「野球をする子はみんなプロにあこがれるけど、それを夢で終わらせるのではなく、高い目標にして、諦めずにがんばることが大

切」とエールを送った。狛江については「枝豆が特産品ですよ。家の近くに枝豆畑があり、おいしくて大好きです」とにっこり。市民に向けては「今後はプロとしてやっていくので、ぜひ応援してください」とアピールしている。

勝又選手の投手としての才能を見出した「狛江ボーイズ」の水崎将勝監督は「ドラフトで勝又選手の名前が上がったときは涙が出ました。彼の野球人生のひとコマに関わったことがうれしい。後輩の選手たちはすごい先輩が出たので全員が活気づいています」と喜び、「彼は体のバネが人一倍強かったので、3年の時に投手をやらせることにしました」と振り返っている。

「狛江ロッキーズ」の中田大作オーナーは「(勝又選手は)子どもの頃から運動能力が高かった。チームからプロ野球選手が誕生し、こんなうれしいことはありません」と話している。



「こまなび電子版」掲載情報 の変更は21日までに

狛江市は、市内の生涯学習団体の情報をまとめた生涯学習ガイドブック『こまなび』の平成30年度版を2月に発行する。

このガイドブックはインターネットで検索できる狛江市生涯学習サイト『こまなび電子版』の情報を取録するもの。同サイトの掲載情報に変更がある団体は21日(日)までに掲載情報を変更するよう、担当の地域活性化課では呼びかけている。

情報変更の手続きの問い合わせは地域活性化課まで。

不登校を考える親の会 9日に初めて開催

「ごはん+居場所 お

かえり」(宮川裕子代表)が「不登校を考える親の会」を9日(日)午前10時～正午に西河原公民館で初めて開催する。

「ごはん+居場所 おかえり」では、不登校の子と親の相談に関わってきた市内在住の神戸大学名誉教授広木克行さんを迎え学習懇談会を催してきた。その際、不登校の相談が多く寄せられたため、そうした親が集まり互いに悩みを共有する場が必要と考え、わが子が不登校だった経験を持つ宮川さんが当事者の親と準備を進めてきた。

当日は、不登校の経験を持つ若者も参加し自分の経験などを話す。時間内の入退室は自由で、話を聞くだけでも良い。今後は月1回程度「親の会」を開催するほか、広木さんも参加する懇談会を開く予定。

問い合わせ ☎090-9955-2198高木さん。

狛江市商工会の商店宅配事業

簡単で安心なサービス

電話やファックスで注文、主婦に人気

だれでも簡単・気軽に安心して利用できる狛江市商工会の「商店宅配事業」が多くの市民に好評だ。

この事業は、消費者へのサービス向上と、お店と顧客とのコミュニケーション促進などを目的に平成13年から始まった。現在、市内の27の商店や事業所が参加、商品の配達だけでなく、さまざまなサービスを提供している。

利用する場合は、下表の登録店に商品名(サービス名)と数量、配達希望時間、住所を電話やファックスで注文するだけでよい。

| 品目 | 店名 電話番号/ファックス | 定休日/受付時間 配達条件/取扱品 |
|--------|---|---|
| 菓子 | 狛江風月堂 3480-3431/3480-3432 | 土・日/10:00～15:00 800円～/銘菓、和菓子 |
| | 五味食品店 3480-8802/3480-8802 | なし/9:00～19:00 800円～/各種食品 |
| | 玉川屋酒店 3480-8449/3480-8449 | 日/11:00～20:30 2,000円～、米3kg～/米 |
| 酒・米・食品 | 籠屋 秋元商店 3480-8931/3489-2044 | 月/10:00～19:00 一升瓶2本～/地酒、焼酎など |
| | アックララメトロポリタン 0120-15-5959/5438-6507 | 日・祝/9:00～18:00 ボトル2本～/ミネラルウォーター |
| | Kenko Coffee 5497-3766 | 日・月・祝/10:00～16:00(配達は土のみ) 1,000円～/コーヒー豆、紅茶葉、焼き菓子など |
| 惣菜・弁当 | 四季彩 春風 5761-8447 | 水/2日前まで 松花堂弁当(2,000円)4個～/弁当またはオードブルなど |
| | インド・ネパール・タイ料理 チャンゴ 3480-7869/3480-7869 | なし/10:30～15:00、17:00～22:30 2,000円～/メニュー全品 |
| | 肉の白井 3489-0674 | 日・祝/10:00～18:00 800円～/肉、惣菜 |
| 肉 | 中村精肉店 3489-3064/3489-3064 | 月/8:00～20:00 1品～/肉 |
| | 成城・城田工房 3489-8611/3489-8611 | 月/11:00～17:00 800円～/手作りハム、ソーセージ |
| 果青 | フルーツのあすなろや 3480-0951/3480-0964 | 日/9:00～18:00 800円～/果物、野菜 |
| | 日本ライフ様 3488-8700/3488-9921 | 土・日・祝/9:00～17:00 1,000円～/肥料 |
| ネット予約 | セイシン本店 3480-8463/3480-6968 | 水/10:00～19:00 1,000円～/時計、メガネ、宝飾、補聴器 |

簡単に利用できるため、子育て中のママからは「子どもが小さいので買い物に出かけるのがひと苦労でしたが、宅配事業を利用すると必要な物を届けてもらえるのでうれしいです」と好評だ。また、高齢者からは「自宅まで重い買い物を運ばずに済むのでとても助かっています」と喜ばれている。また、「お店の人の顔が見られるので、ネットショッピングよりも安心できます」という声も寄せられている。商工会の地域コミュニティサイト「コマエリア」(<https://komaeria.com/>)でも、登

録店が紹介されており、若い人の利用も増えているという。

登録店のひとつ、クスリの平安堂(東野川2-20-17)は昭和40年に府中市で創業した後、平成元年に狛江市

を併設してリニューアルオープンした。

商品の宅配は20年前から毎日行っているが、社長の村田英昭さんによると、おむつ



村田さん(左)から商品を受け取る大浜崎さん

重いものの宅配が喜ばれるという。最近の人気はおかずの冷凍食品で、ヘルシーで種類も豊富なため、注文が増えている。

約15年前から利用している和泉本町4丁目の大浜崎勝史さんは「介護が必要な家族がいるので、月3回ほど頼んでいます。かさばる物や冷凍食品を頼むことが多いです。平安堂は商品の種類が多く、好んだドラッグストアとして市民の健康を守ってきた。また、ことし1月から100円ショップ

へ出店した。薬品、化粧品、介護用品、日用雑貨など約9,000点を扱い、地域に溶け

かかります」と喜んでいる。

Start & Challenge 障がい者のハンディを子どもたちが疑似体験

狛江視覚障害者の会(伊藤聡子会長)が11月4日(日)に西河原公園で「ハンディちゃんじクラブin狛江プレーパーク」を催した。幼稚園児や小学生36人が参加、車いすや義足などを使ったり、目隠しをして点字ブロックを歩くなど5つのアトラクションを通して障がいを疑似体験した。



義足を体験

障がい者が暮らしやすいまちづくりを目指して活動している同会は、昨年度は大人を対象に目隠しをして料理を食べる「暗闇レストランへようこそ!」を開催して好評を得たが、今年度は子どもを対象に、遊びを通して障がいを体験してもらう「ハンディちゃんじクラブ」を企画。市民公益活動事業補助金を受け、車いす用のスロープの材料やスタッフ用のピブスなどを購入、7月に学童保育所で同企画を開催した。

また、8日(日)午前10時～午後2時に市役所前市民ひろばにて障害者週間(12月3日(月)～9日(日))期間中に市との共催イベントとして「障がい者フレンドリーフェスタ」を開催する。

伊藤さんは「障がいは大変なだけでなく、ハンディがあってもおもしろいことがある。遊びの要素を取り入れ、楽しみながら体験することで、多くの人に障がいを身近に感じてもらいたい」と話している。問い合わせ ☎090-9144-9384宇多川さん。